

耐震改修補助 物価高騰対策 大潟野外活動施設存続で論戦

6月議会での日本共産党議員団の3人の一般質問を順に紹介していきます。今回は、上野公悦議員の質問です。

耐震改修補助の拡充を

上野議員は、県が昨年3月に発表した「地震被害想定調査報告書」を踏まえ、地震対策ハンドブックを作成して全戸に配布することや、耐震補強設計や耐震改修の補助制度を拡充することなどを求めました。

これに対して市長は、「耐震改修は、費用が300万円程度必要であるが、補助額の上限が65万円と自己負担が大きく改修できないことなどから、耐震化率が85%にとどまっている。県の被害想定では、上越・糸魚川沖断層による地震被害は甚大な規模になるとのことなので、迅速に耐震化を進める必要がある。」

まず、旧耐震基準の住宅の耐震化を重点的に取り組む。また、耐震設計や耐震改修の補助制度は、今年度実施するアンケートでニーズを把握し、具体化の検討を進める。あわせて、災害に強いまちづくりを推進するため、想定される地震被害の大きさや、耐震化のための支援策などについて、広報上越やSNSなど、市民に広く普及啓発するための効果的な手法について検討する」と前向きに答えました。

これを受けて上野議員は、「今回の被害想定では新しい知見も出てきているので、それに基づいて、がけ崩れの問題から火災の問題などを含めてコンパクトにまとめた新しい冊子を作って配布してはどうか、ま



た、軟弱地盤などの地域特性に合った個々の備えにも対応した地域ごとの懇談会を開くなど、市民周知を図るべきだ」と指摘しました。

この指摘に対して担当部長は、「指摘の通り新たな要素も出てきた。そこで、新しい要素も更新していくべきと認識している。地域において何が一番危険なのか、あるいは複合災害が起こった場合にはどうするかなど、情報を共有しながら、地域との連携を考えたい」と答えました。

上野議員は重ねて、「耐震改修の補助では、新潟県内最高水準の補助が必要ではないか。これは市内経済の活性化にも役立つと思うし、市民の多くが持ち望んでる。アンケート調査に基づいて進ぜひ早くめていたきたい」とたがしました。

これに対して市長は、「その調査と実行について、できるだけ速やかに行っていくたい」と答えました。

物価高騰対策の強化を

次に上野議員は、「異常な物価高騰の中、市民の暮らしと市内小規模事業者の生業は非常に厳しい。消費・需要喚起に繋がる施策が必要だかどうか」と、支援策を求めました。

これに対して市長は、「ロシアのウクライナ侵攻以降、国の経済対策の主眼は、コロナ禍対応から物価高騰対策にシフトしており、当市でも低所得世帯や子育て世帯への給付金や、事業者等への支援金交付など、実効性ある取組を進めている」と答えました。

そこで上野議員は、「中小、小規模事業者は、原材料費やエネルギー価格の上昇分を価格に転嫁できないでいるので、市民がお金を使ってもらえるような事業が必要だ。実際に経済が回るようなプレミアム付き商品券発行支援事業のような需要喚起や消費喚起を進める経済対策をとるべきだ」と指摘しました。

これに対して担当部長は、「以前はコロナ禍で低迷している消費喚起を進めようと自己負

担のないプレミアム商品券の実施をしてきたが、現状の物価高騰の中ではエネルギー価格高騰支援金をあまねくいるいるな事業者に行き届くよう、自主財源を入れながら交付している。コロナ禍とは違うフェーズで支援をしている。その他、いろいろな地区で取り組んでいる事例も紹介しながら、経済活性化に繋がるよう一緒に考えて考え、進めていきたい」と答えました。

大潟野外活動施設の存続を

上野議員は最後に、「大潟区四ツ屋浜にある大潟野外活動施設は、社会教育施設としてだけでなく、観光資源としても大きな役割を果たしていることから、トリム施設を含め維持・整備すべきだ」とたがしました。

これに対して教育長は、「大潟野外活動施設は、開設以来約40年が経過し、子ども会や育成会の活動状況など、青少年を取り巻く社会的環境が大きく変化してきている中、『第4次公の施設の適正配置計画』において、来年度をもってこの施設は地域団体へ貸付または譲渡する計画である。また、トリム施設は塩害や経年劣化など安全面で不安を抱えているほか、修繕不可能となる遊具が増えているので、野外活動施設の廃止後に撤去したい考えであり、今以上維持整備は考えていない」と答えました。

そこで上野議員は、「最近では体験型で感動型の観光に変わってきている。この施設での体験は子どもたちの心の中にきつと残る。そこで、ここはぜひ残してほしい」と要望しました。

上越保健所管内 新型コロナ感染症 感染者定点報告数

6月5日～6月11日 5.75 (県5.49)
6月12日～6月18日 5.88 (県4.82)

日本共産党上越市議員団ニューズ

No.794 2023年7月2日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))